

# CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

## 評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	テンパール工業株式会社 本社工場	階数	地上2F
建設地	広島市南区大州3丁目253-9,253	構造	S造
用途地域	都市計画地域内	平均居住人員	88 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,800 時間/年
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017/11/15 予定	評価の実施日	2015年10月3日
敷地面積	7,368 m <sup>2</sup>	作成者	村田友弘
建築面積	1,632 m <sup>2</sup>	確認日	2015年10月5日
延床面積	2,941 m <sup>2</sup>	確認者	大田貴志

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.9</b> ★★☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> <span style="float: right;">Q のスコア = 2.5</span></p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> <span style="float: right;">Q1のスコア = 1.9</span></p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> <span style="float: right;">Q2のスコア = 2.6</span></p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> <span style="float: right;">Q3のスコア = 2.9</span></p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> <span style="float: right;">LR のスコア = 3.3</span></p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> <span style="float: right;">LR1のスコア = 3.6</span></p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> <span style="float: right;">LR2のスコア = 2.9</span></p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> <span style="float: right;">LR3のスコア = 3.2</span></p>

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア = 3.1		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p style="text-align: right;">スコア = 3.4</p> <p>設計の計画段階に配慮した事項</p> <p>屋根の高断熱仕様の採用 / 必要部位に断熱材を採用 / 高効率熱源機器の採用 / // 高効率熱源機器の採用により省エネ化を図りCO<sub>2</sub>の削減</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p style="text-align: right;">スコア = 2.3</p> <p>設計の計画段階に配慮した事項</p> <p>/</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p style="text-align: right;">スコア = 2.9</p> <p>設計の計画段階に配慮した事項</p> <p>/</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される